

APECの食料安全保障に関するカザン宣言の概要

前文

- ・ 新潟における第1回APEC食料安全保障担当大臣会合以降も、食料安全保障は重要性が高い課題
- ・ 食料安全保障政策パートナーシップ（PPFS）を歓迎
- ・ 食料安全保障に関する新潟宣言を再確認

農業生産性の増大と生産性の向上

- ・ 持続可能な農業生産の拡大は、APEC地域の食料安全保障のための不可欠な要素
- ・ 持続可能な農業の成長のためには、投資の促進と革新的技術の採用を通じた農業生産性の向上が必要
- ・ 世界の環境条件の多様性と農業の正の外部性を考慮した上で、個々の地域にとって最適な方法で、気候変動などの環境リスクへの適切な対応、天然資源等の効率的利用の促進、女性を含む農業者の関与、自然災害への対応力と強靱性の強化が必要
- ・ 持続可能な農業生産性向上や小規模農家の格差是正に向けたG20の取組みを歓迎
- ・ 公共投資の役割に注目しつつ、民間投資の重要な役割を認識
- ・ 4国際機関による責任ある農業投資原則（PRAI）策定を評価。この原則に関するCFSでの進行中の協議を支持するとともに、VGの採択を歓迎。責任ある農業投資に係る国際機関によるベストプラクティス特定作業（特にPRAI関連パイロットプロジェクト）を歓迎。民間投資が責任ある形で行われるよう、その実施に当たりVG及びPRAIを考慮に入れることを推奨。
- ・ 農業分野の研究開発への長期的投資の大幅な増加が必要
- ・ 農家を含む全ての関係者による農業研究体制の向上が必要
- ・ 農家や地域共同体に革新的農業技術に関する知見等を提供することを目指した方策に関する議論を支持
- ・ バイオテクノロジーが農業生産の増大と生産性の向上にとって有益
- ・ 災害防備及び農業生産等の回復のための協議の強化が重要

貿易円滑化と食料市場の発展

- ・ 食料安全保障は、公正で市場志向の貿易に基づく場合に効果的
- ・ WTOの枠組みの下での開放的でルールに基づく多角的な貿易システムの価値を再確認
- ・ 地域的に統合された市場の推進を促すことの決定的な重要性を強調
- ・ 食料輸出に係る禁輸その他の制限措置が食料価格の乱高下を生じうることを認識し、保護主義に反対するAPEC首脳のコミットメントを再確認。
- ・ アジア太平洋食料安全保障情報プラットフォーム（APIP）の日本の努力を評価
- ・ 農業市場情報システム（AMIS）の構築を含め、G20「食料価格乱高下と農業に関する行動計画」を歓迎
- ・ AMIS と APIP の協力の機会についての検討に合意
- ・ APEC 財務大臣会合に、農業金融市場の透明性と規制についての議論を提案

- ・ 食料市場のインフラ及びより進んだポストハーベストロス管理のために目標を絞った投資が重要。

食品の安全性と品質の向上

- ・ 食品の安全性や品質に関する衛生及び動植物衛生（SPS）に関する国際的基準や技術的規則の適用において、顕著な進展を果たしたことに留意し、この結果、食品供給チェーンを強化、安全で品質の高い食料貿易の発展に新たな機会を付与
- ・ 国際基準と国内規制の調和、検査能力の向上等が必要

社会的弱者の食料アクセスの改善

- ・ 持続的な社会的保護と社会的セーフティーネットの強化等が必要
- ・ 災害の緩和、防備、対応及び回復における地域的能力の強化について、協働して対処

持続的な生態系に基づいた管理の確保並びに違法・無報告・無規制漁業（IUU）及び関連する貿易の阻止

- ・ 海洋生態系、漁業及び養殖業の持続的管理、並びにIUU漁業及びそれに関連する貿易を阻止することが極めて重要
- ・ 二国間及び多国間のパートナーシップ強化の重要性を認識
- ・ IUU漁業阻止のため等の協力を推進する必要性を強調

フォローアップ

- ・ 新潟宣言の実行の進捗に留意し、新潟行動計画の実施のレビューの継続が重要
- ・ APEC 事務局による進捗状況の評価を要請し、その結果の分析は、APIP を通じて各エコノミーに共有